

令和6年10月8日発行 江別市立上江別小学校

URL [http:// www.ebetsu-city.ed.jp/kamiebetsu-s/](http://www.ebetsu-city.ed.jp/kamiebetsu-s/)



学校教育目標

- いきいき のびのび
- ☆かんがえる子
- ☆やさしい子
- ☆げんきな子
- ☆なかよくする子

文責 教頭

## 令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について

校長 吉田 光岐

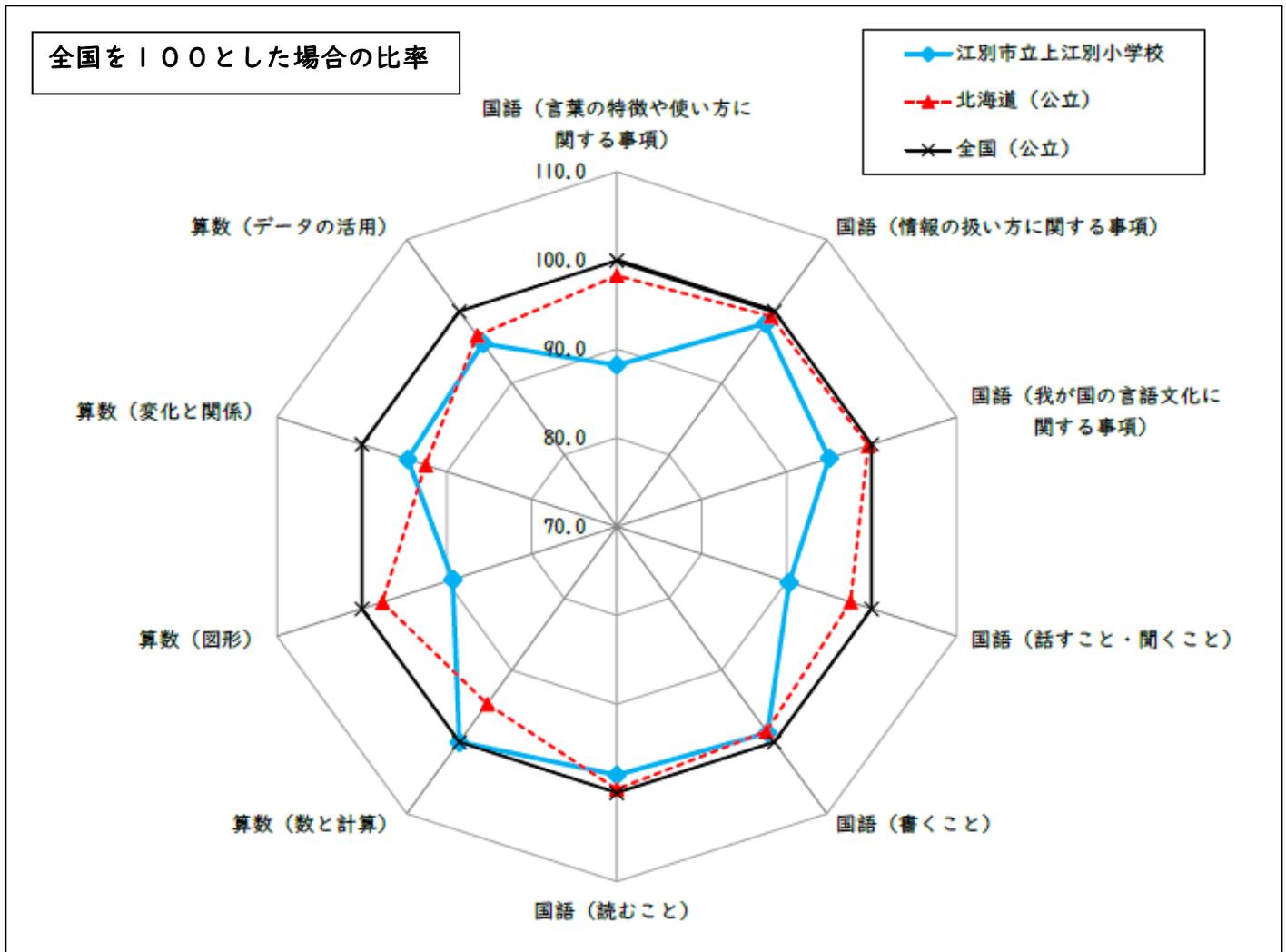
今年度の全国学力・学習状況調査を例年通り4月に、6年生が実施致しました。6年生の保護者様にはすでに結果を記載した個票を配付させていただきました。つきましては、本紙面にて今年度の結果と今後の取組についてご説明させていただきます。

さて、今年度の調査結果からうかがえる、本校のおおよその傾向についてお知らせいたします。学校では、今回の結果を真摯に受け止め、本校児童の学力を定着させ、さらに向上するよう、職員一丸となって指導の工夫改善に努めて参ります。

また、保護者・地域の皆様には、今後も一層のご理解を賜りたくお願い申し上げます。なお、ご不明な点がありましたら、学校（教頭）までお問い合わせください。

### 1. 国語・算数の結果の概要

令和6年度全国学力・学習状況調査 上江別小正答率



今年度は国語と算数を実施しました。本校の結果が青線、北海道の結果が赤線、全国の結果が黒線で表示されています。

**国語**は、全国平均を下回る結果となりました。各領域別にみると「情報の扱い方に関する事項」「書くこと」「読むこと」が全国平均をやや下回り、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」「話すこと・聞くこと」が全国平均を下回る結果となりました。

**算数**も全国平均を下回る結果となりました。各領域別にみると「数と計算」が全国平均と同様であり、「図形」「変化と関係」「データの活用」が全国平均を下回る結果となりました。

## 2. 「児童質問紙調査」における学力向上に関連する項目について

### 【家庭学習時間】

■質問項目「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。」

◆本校児童は全国と比較し、**家庭学習時間が短い**という実態がわかりました。「3時間以上」と「2時間以上、3時間以下」の合計は、**本校は16.4%。全国は23.5%**でした。

本校で推奨している家庭学習時間は、

学年×10+10分であるので、**62.6%の児童が本校推奨時間を満たしています**。今後は、今回の結果を踏まえ、本校推奨の家庭学習時間を見直す必要があると

考えます。

	本校	北海道	全国
3時間以上～	5.8%	5.7%	11.0%
2時間以上3時間以下	10.6%	10.8%	12.5%
1時間以上2時間以下	46.2%	35.9%	31.1%
30分以上1時間以下	27.9%	30.0%	27.0%
30分以下	7.7%	13.9%	13.0%
全くしない	1.9%	3.7%	5.3%

### 【ICT機器の活用】

■質問項目「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。」

◆ICT機器利用頻度は全国と比較し、**ほぼ同等**という結果となりました。「ほぼ毎日」と「週3回以上」の合計は、**本校は59.6%。全国は、59.5%**でした。

	本校	北海道	全国
ほぼ毎日	14.4%	32.5%	25.3%
週3回以上	45.2%	35.6%	34.2%
週1回以上	30.8%	22.9%	26.0%
月1回以上	6.7%	6.4%	10.3%
月1回未満	2.9%	2.5%	4.2%

### 【対話活動】

■質問項目「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか。」

◆全国と比較し、**やや上回っている**という結果となりました。「当てはまる」と「どちらか」として当てはまる」の合計は、**本校は88.5%。全国は86.3%**でした。

	本校	北海道	全国
当てはまる	51.0%	42.3%	41.4%
どちらかといえば、当てはまる	37.5%	44.4%	44.9%
どちらかといえば、当てはまらない	7.7%	10.6%	10.5%
当てはまらない	3.8%	2.1%	2.3%
学級の友だちとの間で話し合う活動を行っていない	0.0%	0.6%	0.8%

### 【将来の夢、目標について】

■質問項目「将来の夢や目標をもっていますか。」

◆全国と比較し、**上回っている**という結果となりました。「当てはまる」と「どちらか」として当てはまる」の合計は、**本校は88.4%。全国は82.4%**でした。

	本校	北海道	全国
当てはまる	66.3%	59.8%	60.6%
どちらかといえば当てはまる	22.1%	21.8%	21.8%
どちらかといえば、当てはまらない	6.7%	10.3%	9.8%
当てはまらない	4.8%	8.0%	7.7%

## 【社会貢献への意識】

### ■質問項目「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」

◆全国と比較し、**上回っている**という結果となりました。「当てはまる」と「どちらか」と当てはまる」の合計は、**本校は 100%**、**全国は 95.9%**でした。

	本校	北海道	全国
当てはまる	75.0%	71.7%	71.1%
どちらかといえば当てはまる	25.0%	24.3%	24.8%
どちらかといえば、当てはまらない	0.0%	2.9%	2.9%
当てはまらない	0.0%	1.1%	1.1%

◎今年度の学力・学習状況調査の結果から、学力面においては全国平均を下回ったものの、「将来の夢や目標をもっている」「人の役に立つ人間になりたい」など、社会性においては高い意識をもっているということがわかりました。この度の結果を踏まえ、学力向上策を進めるとともに、社会性もよりいっそう伸ばしていけるよう、引き続き取組を進めて参ります。

## 3. 全ての子どもたちの学力の定着と向上を目指すための取り組み（本調査を受けて）

1. 本校の学力向上のキーワードを『「読み」「書き」「計算」の徹底』とし、全校的に取り組みを進めます。
  - ◆「読み」～音読（基本的に毎時間音読タイムを設ける）  
～読解（朝読書及び、隙間読書は、物語ないし絵本を基本とする）
  - ◆「書き」～学習後に振り返りを記述し、児童間の交流を重視する。  
各種行事後に振り返りを記述する。
  - ◆「計算」～四則計算の確実な定着を図る（A I ドリルを積極的に活用する）
2. 国語、算数ともに記述式の問題が全国的にも正答率が低い傾向であるため「問題の意図を理解して読む力」「キーワードとなる言葉を選択する力」「キーワードを繋ぎ合わせて規定文字数に合わせて書き表す力」「言葉や数字を使って自分の考えを端的に表現する力」の4つの力を育てていくことを目標に、全校的に取り組みを進めていきます。
3. 国語「話すこと・聞くこと」に関しては、「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする」といった「対話活動」の実践を継続して、向上を図っていきます。
4. 算数「図形」を本校の重点指導領域と位置づけ、新たに学習に入る際には既習事項に関するプリントで定着度を把握したり、学習後しばらく期間を置いた後に定着度を確認するプリントを実施したりして、向上を図っていきます。
5. 家庭学習時間については、中学校と連携した家庭学習強化週間の取り組みを通して、学習内容の充実と学習時間増につながる指導をしていきます。
6. ICT 機器の活用については、引き続き授業内での効果的な活用を目標として研修及び実践に努め、全校的に取り組んでいきます。
7. 対話活動については、引き続き授業内で効果的な対話場面を創出していくことを目標として研修及び実践に努め、全校的に取り組んでいきます。

## 4. ご家庭へのお願い

●家庭学習の習慣化におけ、各学級において「いつ」「何を」「どのように」「どのくらい」行うとよいか児童に繰り返しアドバイスをしています。目指す児童像は、**「自分で学習内容を決定したり、調節したりして、自分から進んで行う児童」**です。ご家庭でも、家庭学習習慣の早期定着に向け、お声かけをお願いします。

- 児童質問紙の結果から、3時間以上ゲームをしている児童は、本校 38.5%、全国 30.3%、3時間以上スマホなどでSNSや動画を視聴している児童は、本校 26.9%、全校 20.7%と、どちらも大きく上回る結果となりました。ゲームやスマホにふれる時間の軽減や「えべつスマート4ルール」について、学校でも再度呼びかけていきますので、ご家庭でもお言葉かけをお願いいたします。
- 児童の読む力を養うため、これまで実施してきた「いきいきタイム」の朝読書の本を後期から「物語」もしくは「絵本」を基本とします。課題が終わった後の「隙間読書」においても同様とします。本校の図書館にも良書を多数取り揃えておりますが、図書館の本ではなく、自宅から本を持ってくる児童もおります。後期から変更になることをご承知おきください。